

令和7年度国庫補助事業親子ふれあいキャンプ療育事業（報告）

文責 立岡里香

8月3日（日）にPTA活動の一環として取り組みました。「防災・応災について学ぼう」をテーマに、諫早市のこどもの城、障害福祉課、危機管理課、PTAで協働して企画した事業です。

○参加者

本校児童生徒：37名、保護者：66名、その他：43名（兄弟児、長大、鎮西大ボランティア、教員等）

○内容

- ・障害福祉課及び危機管理課：防災に係るビデオ視聴、非常用袋及び簡易ベッド・テントの展示
- ・こどもの城：子ども向け、保護者向けワークショップ
- ・保護者：非常食の試食、自分で作れる簡易トイレの紹介、写真立て作り



あらかじめPTA役員がホームセンターで購入した非常食を試食しました。ピラフ、ハンバーグ、スパゲティ、ほうとう、羊羹、豚汁、パンなどメニューも豊富で、味も普通に美味しかったです。パッケージを撮影する保護者もたくさんおられました。



段ボールを写真立ての形に切ったものに、それぞれ色を塗ったりシールを貼ったりして、夏休みの工作の出来上がり！



本校の保護者がどこかで学んだという手作りの「簡易トイレ」。ペットシートとゴミ袋があれば安価でたくさんできます。災害時こそ一番大事なものがトイレだそう。



ベッドに寝たりテントに入ったり、意外と心地良かったです。「避難所に行くことがあったらテントは必要ですね」と話す保護者もいました。



あえて子どもと保護者を分けたワークショップ。日頃なかなか話すことのない保護者（特にお父さん）同士。「1億円当たったらどうする？」などのアイスブレイクのあと、我が家の防災対策などのお題で各グループで話が弾みました。



夏休みに入ってから諫早市で震度4の地震があったり、数日後には全国で津波警報が出たりして、災害に対する意識が高まったタイミングでの実施となりました。保護者の皆さんも興味をもって参加しておられたように思います。

今回の事業準備にPTA役員さんは熱心に取り組まれました。災害への意識が高まると同時に、本校の保護者同士の縦と横のつながりが広がり、強まったな～と感じています。2学期以降のPTA活動が更にパワフルになりそうです！